

## 政策 3 産業振興(3)

### 観光の振興

#### 目的

島根の魅力を最大限に活かした観光地づくりにより、国内外からの誘客を促し、観光を振興します。

#### 現状と課題

県内の観光客数は、平成13年の2,605万人をピークに減少傾向にありましたが、平成16年から増加に転じ、平成18年には入り込み延べ数2,658万人、観光消費額1,190億円で過去最高となっています。

島根は従来からの観光地のほか、石見銀山遺跡など、近年、集客力を高めた地域を有しています。これらを核とし、地域の特色を活かして、隣県も含めた広域的な面としての観光振興を進めていくことが必要です。

旅行ニーズが多様化・個人旅行化し、観光地間の競争が全国的に激化するなかでは、島根独自の資源を活かしたテーマ性のある観光の創出と定着が必要です。

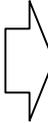
#### 取組みの方向

各地域が持っている特色や強みを活かした観光資源の広域的連携による旅行商品開発を進め、情報発信を積極的に行います。

島根の様々な資源を活用し、地域が主体となって行う旅行商品の創出や、他分野からの参入促進など、観光関連業に携わる人材・組織を育成します。

県民との協働により、訪れる人々を温かくおもてなしする観光地づくりを推進します。

#### 成果指標と目標値

成果指標	平成19年度		平成23年度
観光客入り込み延べ数	2,658万人		2,900万人
観光消費額	1,190億円		1,300億円
観光の満足度	44.0%		50%

「島根県観光動態調査」で調査する観光地点入り込み延べ人数です。

「島根県観光動態調査」で調査するアンケートから算出した額です。

宿泊客への「観光アンケート調査」において、島根の観光地やおもてなしに対して「満足」と回答した人の割合です。現状値は、「満足」44.0%、「ほぼ満足」38.9% などとなっています。

## 県が実施する施策

広域観光の推進 . . . P-124-

観光交流ビジネス化の支援 . . . P-126-

## 県民の皆さまへ

観光は、一次産業・二次産業から三次産業まで広く関わっています。また、産業振興であると同時に地域振興にもつながっており、島根の発展に向け、波及効果が非常に大きな分野です。島根には、豊かな自然、古き良き文化・歴史、また来訪者にも親切な人々の暮らしなど、良いものがたくさんあります。こうした優れた観光資源を大いに活用するとともに、広く観光交流活動に参画しましょう。

### 〔取組み事例〕

#### 【地域主体の観光振興】

隠岐地域では、民間有志による有限責任事業組合を核に、島根県と隠岐観光協会が加わって、旅行プランの企画のほか、特産品の通信販売など新しい集客ビジネス構築に取り組んでいます。また、美郷町、川本町では、地元の有志が三江線を利用した新しい旅を企画するなど、新たな地元発の取組みが進められています。

#### 【県境を越えた広域的な連携】

広域的な取組みが様々な主体により進められています。島根、鳥取の20の社寺が連携して設立された「出雲の国社寺縁座の会」では、宍道湖・中海を巡る神仏霊場巡拝ルートを設け、ご縁を尊ぶ心の旅を提唱しています。また、「中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会」では、観光ポータルサイトの開設や産業観光のネットワーク化などの取組みが進められています。